



もうすぐ実りの秋 到来！

暑い日が続いていますが、着実に季節は進んでいきます！

黒豆も花が咲き、田んぼの稲穂も首を垂れ、間もなく稲刈りの時期がやってきますね。

実りの秋が到来です！

福住の秋の味覚、待ち遠しいですね！



福住の夏の終わりを告げる

「八朔まつり（8/31）」開催！

新型コロナウイルス感染症拡大防止などのため中止されてきた「八朔まつり」が5年ぶりに、8月31日、熊野新宮神社で開催されます！

8/31の宵宮には、7集落からの山車が、午後5時30分に宮ノ下に集合、午後6時から順に境内参入して、午後6時30分から宮入の開始が予定されています。

本宮の9月1日（八朔の旧8月1日）は神事のみが執り行われます。

過去には、竹や樹皮など自然の材料を用いて鷲、鯉の滝登り、龍、孔雀、虎、梅に鶯などなど、材料に工夫を凝らした造り物で注目が集まりました。

令和6年度は、どのような造り物か？

ぜひ、現地でお楽しみください！



NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

- 加工賃：1kgあたり420円
- 真空パック：1kgあたり25円
- 申し込み

ご希望の方は加工所営業時間に
電話（080-9534-4275）まで

- 営業時間：月・水・木曜日の午前9時～午後5時



「米粉の日」は、毎月最終木曜日
に定期開催！

8月は29日（木）、9月は26日（木）開催予定です。※その他の日も相談頂ければ対応いたします。



みなさんからの「福住さとねっと」への
投稿・情報提供お待ちしております！
=さとねっと編集部=

「水無月まつり（7/27）」開催！

猛暑の7月27日（土）、住吉神社において「水無月まつり」が行われました。

朝7時30分からの神事「神幸祭」から始まり、各集落から山車が5基、提灯に灯りをともし、順次宮入。打ち込み囃子の奉納など。いつもより参拝の方が多かったように思います。事故なく、無事終了しました！



7月の「福の里農業小学校」

7月20日(土)午前中は、ジャガイモの収穫をしました。



掘るとつぎつぎとジャガイモが！保護者の方も一生懸命！

‘こんなデカイイモ’を掘ったよ！自慢！

午後は、暑い中、黒大豆の畑に、わんさと生えた雑草抜き！



「いきいきサロン原山」開催！

=原山三区(下原山・中原山・奥原山)主催=

「いきいきサロンはらやま」が、7月27日(土)下原山公民館において開催されました。

この「いきいきサロンはらやま」は、民生児童委員をはじめ、老人会や各集落の自治会長、福祉委員が中心となり、原山三区(下原山・中原山・奥原山)の全住民を対象に毎年複数回交流している取り組みです。

当日は、猛暑の中でしたが、子どもからお年寄りまで約40名の参加があり、一人ひとりの願いの短冊をつけた「七夕飾り」を行った後、昼食には、本物の竹を使った「納涼そうめん流し」を行い、参加者全員舌鼓を打ちました。午後からは、景品が当たる「大ビンゴ大会」を開催し、ガラポンで数字が出るたびに、参加者からは、自分のビンゴカードの数字を必死に探して歓声やため息が出るなど大いに盛り上がりました。

今後の予定としては、冬期に「大餅つき大会」を計画していますので、今から楽しみです。



《丹波新聞社提供》

第1回古文書講座報告 「福住地区東部の史跡めぐり～安口 金毘羅山・観音寺薬師堂を中心に～」 (フィールドワーク)

=SHUKUBA 情報=

第1回の古文書講座は7月9日(火)に参加者21名、講師は地元の森田要さん、土佐雅彦さんにお世話になり実施しました。前年度のフィールドワークの最終地点が安口西公民館でしたので、今回はその続きで弥陀寺を出発点として金毘羅山、観音寺(以上安口)、馬場家石碑(西野々)をコースとしました。

最初の弥陀寺は浄土真宗本願寺派(本山:西本願寺、開祖:親鸞聖人)の末寺で、江戸末期(1865年)に過去帳が作られた記録がある古刹で境内には親鸞聖人の像がある荘厳な佇まいの寺院です。ここより古道を東に行くと金毘羅山の入口に到着します。そこから登山が始まります。山道は安口の方により整備されていてつづら折れの山道を息を切らして上ると、中腹から石仏が出てきます。石仏は頂上までで全部で34体あり、それが西国33か所の霊場の観音菩薩を刻んだ石仏です。この石仏は安政3(1856)年と彫られていることから、天保の飢饉の後10数年をかけて安寧な世の中を願って設置されたものらしいです。

次に安口集落の東端の山麓に佇む観音寺です。観音寺の



本堂の前には薬師堂というお堂があります。この薬師堂には「薬師如来立像」や「観世音菩薩立像」などの立派な仏像が5体ほど安置されています。「薬師如来立像」はよく見ると黒っぽい煤(すす)のようなものが付いています。これは、靱井城や安口城が合戦により落城した時の戦火を潜って来た時のものらしいのです。もともと薬師堂は安口城の麓にあったものですが、近代になって移築されたと伝えられています。

金毘羅山から下山する時にわか雨にあい、結局、最後の馬場家の石碑には行けず安口西公民館で解散しました。

参加された皆様からは、「たいへんよかった」「すぐ近所にこんな史跡があるとは驚き。」「地元の史跡をたくさん学びました。」「年に1回はフィールドワークを実施してほしい。」等々の好評価をいただきました。

次回は神戸大学の松本充弘先生を講師にお招きして、商家に伝わる古文書により「福住の馬持ち渡世」を9月27日(金)に実施します。

参加希望の方はSHUKUBA(畑 Tel1080-5714-8672)までご連絡ください。